第37期富士見市民大学公開講演会

建康と長寿のために~

講師:小泉武夫氏





14時~16時 開場は30分前 鶴瀬コミュニティセンターホール

受講料:500円

2月14日(土)2時から鶴瀬コミュニティ―ホールを会場に開催。 約220名が聴講された。先生は「発酵学」の権威で、「小泉造語」と いわれる独特の表現を多用しながら、本・テレビなどで「食の文化」 について、わかりやすく発信されております。

今日は冒頭に NPO 富士見市民大学の小山理事長の挨拶を受けて、 「和食」のユネスコ無形文化遺産に登録された件についてコメントが あり、日本人が「和食」を食べなくなったことを心配されていました。

さて、本題の発酵食品礼賛ですが、最近の科学的実証をもとに、い かに発酵食品が「健康」に良いのかを分かりやすく伝えて頂いた。か つ最近の広島大学の渡邊敦光教授のビッグニュースについても付け加 えられた。そして「焼き納豆丼」レシピで講演を結ぶ。

やはりテレビなどで活躍されていることもあり、講義にめりはりが あり、楽しく愉快に聞くことが出来ました。聴講された方々も非常に 有意義であったと感謝の言葉を述べておられた。







<講演舞台 全景>



司会者 開会の辞 w/手話

大学理事長 挨拶 w/手話





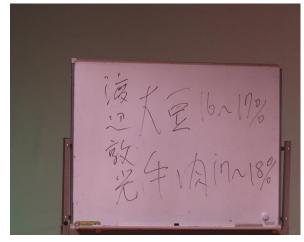
<講演風景>







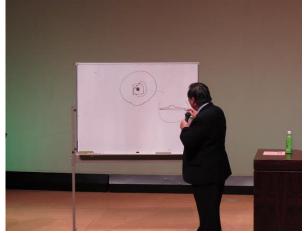






最新の発酵食品のホット情報として 広島大学 渡邊敦光 (ヒロミツ) 教授の体内の放射能を出す味噌力について





「焼き納豆丼」レシピ *最後のページにインターネット情報を付加しています





講演中に、突然の闖入者2題







↑ (舞台向っての左手から)



質問タイム 質問を聞かれている様子



嬉しそうに応えられている様子

鶴瀬公民館 館長 閉会の辞

及び 本の販売風景





以下、先生のプロフィールと著書です。

■先生のプロフィール



講師:小泉武夫氏

小泉武夫氏 プロフィール

1943年福島県の酒造家に生まれる。

農学博士。東京農業大学名誉教授。専攻は醸造学・ 発酵学・食文化論。

現在、鹿児島大学、広島大学、琉球大学の客員教授。

国や各地の自治体で食に関するアドバイザーを多数兼任。また執筆、テレビ出演など多方面で活躍中。 食に関する著作は単著 129 冊、共著 22 冊。

■著書(ウィキペディアより)

- 『酒の話』(1982年12月 講談社現代新書)
- 『灰の文化誌』(1984年12月 リブロポート)
- 『匂いの文化誌』 (1989年4月 リブロポート)
- 『発酵』(1989年4月中公選書)
- 『日本酒ルネッサンス 民族の酒の浪漫を求めて』(1992年 11月 中公選書)
- 『酒肴奇譚 語部醸児之酒肴譚』(1994年3月中央公論社 / 1997年10月中公文庫)
- 『語部醸児の粗談義 ぜんぶ魚のアラの話』(1995年4月 中央公論社)
- 『平成養生訓 諺に学ぶ生きる知恵』 (1996年2月 講談社)
- 『銘酒誕生 白酒と焼酎』(1996年7月 講談社現代新書)
- 『「味覚人」飛行物体』(1997年9月 時事通信社)
- 『味噌、醤油、酒の来た道』(1998年2月 小学館ライブラリー)
- 『灰に謎あり』(1998年7月 NTT 出版)
- 『酒に謎あり』 (1998年10月 講談社 / 2004年8月 日経ビジネス人文庫)
- 『地球を快食する』(1999年4月 文藝春秋)
- 『粗談義』(1999年4月中公選書)
- 『発酵』 (1999年9月 中公選書)
- 『発酵食品礼讃』(1999年11月文春新書)
- 『日本酒百味百題』(2000年4月 柴田書店)
- 『納豆の快楽』(2000年7月講談社/2006年12月講談社文庫)
- 『漬け物大全 美味・珍味・怪味を食べ歩く』 (2000年 10月 平凡社新書)
- 『小泉武夫の世にも不思議な食の世界』 (2001年7月 日本経済新聞社)
- 『憂国の情に駈られて』 (2001年10月 東京農業大学出版局)
- 『蟒之記』(2001年11月 講談社)
- 『食と日本人の知恵』(2002年1月 岩波現代文庫)
- 『FT 革命』 (2002 年 6 月 東洋経済新報社)
- 『発酵する夜』(2002年6月新潮社)
- 『食の堕落を救え!』 (2002年6月 廣済堂出版)
- 『不味い!』(2003年5月新潮社/2005年12月新潮文庫)
- 『くさいはうまい』(2003年7月毎日新聞社 / 2006年7月文春文庫)
- 『冒険する舌』 (2003年11月 集英社インターナショナル)
- 『人間はこんなものを食べてきた 小泉武夫の食文化ワンダーランド』 (2004年2月 日経ビジネス人文庫)
- 『小泉教授が選ぶ食の世界遺産 日本編』(2004年6月 講談社 / 2007年5月 講談社文庫)
- 『我輩はビールである』 (2004年8月 廣済堂出版)

- 『食の堕落と日本人』(2004年9月 小学館文庫 / 新版 2010年8月 東洋経済新報社 プレミア健康選書)
- 『小泉武夫 食のワンダーランド』 (2005年1月 日本経済新聞社)
- 『くさいものにはフタをしない』(2005年4月 幻戯書房 / 2008年5月 新潮文庫)
- 『小泉式 食べ物養生訓 108』 (2005 年 5 月 講談社 + α 文庫)
- 『地球を肴に飲む男』(2005年7月講談社文庫)
- 『沈まないトマト 食の堕落で日本が危ない』 (2005年7月 ジュリアン出版)
- 『ぶっかけめしの快感』(2005年1月 ビジネス社 / 2009年5月 新潮文庫)
- 『美味巡礼の旅味覚人飛行物体』(2005年11月毎日新聞社)
- 『発酵は錬金術である』 (2005年11月 新潮選書)
- 『発酵レストラン』 (2005年12月 マガジンハウス)
- 『旅せざるもの食うべからず』(2006年3月光文社)
- 『菌が地球を救う!』(2007年9月 宝島社
- 『ニッポン快食紀行 美味はスゴイ!』 (2008年5月 小学館文庫)
- 『キムチの誘惑 神秘の発酵食をめぐる韓国快食紀行』 (2008 年 5 月 情報センター出版局)
- 『いのちをはぐくむ農と食』 (2008年7月 岩波書店)
- 『わが輩は発酵仮面である!』 (2008年11月 東洋経済新聞社)
- 『発酵美人』(2009年6月メディアファクトリー)
- 『食で日本を立て直せ』 (2009年6月 ソニーマガジンズ トレビズ選書)
- 『鯨は国を助く』 (2010年4月 小学館)-資料協力、日本鯨類研究所
- 『カイチュウ博士と発酵仮面の「腸」健康法』(2010年5月 中経出版)※藤田紘 一郎共著
- 『発酵食品の魔法の力』(2010年5月 PHP新書)
- 『食の堕落と日本人 新版(プレミア健康選書)』(2010年8月 東洋経済新報社)
- 『絶倫食』(2010年8月新潮社/2013年1月新潮文庫)
- 『食は知恵なり 自然のちから 親子で学ぼう!美味しさの秘密がわかる本』(2010年 11月 日テレムック)
- 『日本全国納豆博覧会』 (2010年12月 東京書籍)
- 『「食魔亭」日録 小泉武夫の胃袋を覗く』(2011年6月 祥伝社)
- 『一度は食べたい美味いもの漫遊記』 (2011 年 6 月 中経の文庫)
- 『発酵人小泉武夫のうまいもん!くさっ!美味の巻(ぐる漫)』 (2011年9月 少年画報社)
- 『賢者の非常食』(2011年10月 IDP 出版)
- 『すごい和食(ベスト新書)』(2011年11月 ベストセラーズ)
- 『こころをよむ 食べるということ 民族の食文化』 (2011年 12月 NHK 出版)
- 『食べもの日本地図鑑(ちず+ずかん=ちずかんシリーズ)』(2012年3月 平凡 社)

- 『発酵食品学(KS農学専門書)』(2012年4月講談社)
- 『小泉武夫のほんとうに美味しい話 愛蔵特選』 (2012年7月 海竜社)
- 『食で日本一の孫育て 虎の巻』 (2012年9月 マガジンハウス)
- 『いのちと心のごはん学』 (2012年11月 NHK 出版)
- 『小泉武夫のミラクル食文化論』 (2013年4月 亜紀書房)
- 『土の話』(2013年3月 石風社)※イラスト:黒田征太郎
- 『すべてがわかる!発酵食品辞典(食材の教科書シリーズ)』(2013年6月 世界 文化社)
- 『缶詰に愛をこめて』(2013年11月朝日新聞出版)
- 『いきいき・ビンビン 和食生活のすすめ』(2013年12月 東京堂出版)
- 『発酵はマジックだ』(2014年11月日本経済新聞社)
- 『小泉武夫のチュルチュルピュルピュル九州舌の旅』(2014年 12月 石風社)※ 松隈直樹共著

食あれば楽ありシリーズ

- 『食に知恵あり』(1996年9月日本経済新聞社 / 2002年12月日経ビジネス人 文庫)
- 『食あれば楽あり』(1999年6月 日本経済新聞社 / 2003年7月 日経ビジネス人 文庫)
- 『食に幸あり』 (2002年10月 / 2005年2月 日経ビジネス人文庫)
- 『小泉武夫の料理道楽食い道楽』 (2008年2月 日経ビジネス人文庫)
- 『小泉武夫の美味いもの歳時記』(2008年12月 日経ビジネス人文庫)
- 『小泉武夫の快食日記 食あれば楽あり6』(2011年2月 日本経済新聞社)

怪食紀行シリーズ

- 『アジア怪食紀行 「発酵仮面」は今日も行く』(2001年4月 徳間書店 / 2004年1月 光文社 / 2005年3月 光文社知恵の森文庫)
- 『中国怪食紀行 我が輩は「冒険する舌」である』 (2003年2月 光文社知恵の森 文庫)
- 『地球怪食紀行 「鋼の胃袋」世界を飛ぶ』(2005年3月 光文社知恵の森文庫)

小説

- 『夕焼け小焼けで陽が昇る』 (2013年3月 講談社文庫)
- 『猟師の肉は腐らない』(2014年7月新潮社)

■「焼き納豆丼」 ←http://www.kyounoryouri.jp/recipe/



より、情報の貼り付け

